

広報 秩父

No.581

1
January 2019

Public Relations Magazine

謹賀新年

認定こども園くるみ おもちつき 12/4



- 年頭のご挨拶
- 子ども子育て応援宣言
- 屋根雪の除雪費用を助成します
- 秩父別町長及び秩父別町議会議員選挙のお知らせ

年頭のぞい挨拶

秩父別町長 神 薙 武



平成31年1月1日、秩父別町は「子ども子育て応援宣言のまち」として新たな一歩を踏み出しました。

新年明けましておめでとございます。

町民の皆様には、平成31年の輝かしい新春をご家族お揃いで迎えられることと、謹んでお慶び申し上げます。

また、平素から町政の執行に対しまして、温か

がブラックアウトになる停電が発生いたしました。

本町も発生から22時間にわたり停電となり、住民生活に影響が出るなど、自然災害の脅威を改めて痛感した次第であります。

この地震により犠牲となられました方々に対し、改めて哀悼の意を表しますとともに被害に遭われた皆様に心からお見舞いを申し上げ、一刻も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

さて、我が国の経済は緩やかに回復しておりますが、人口減少や高齢化の急速な進行により、地方を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような中、自民党総裁選で3選を果たした安倍首相は、少子高齢化に対応するため「生涯現役社会」に向けた雇用制度改革や、全世代型の社会保障改革の実現を最大目標に掲げておりますが、農産物に関連する通商政策や、米生産調整の抜本的な見直しなど一連

の急進的な農政改革などにより影響を受ける農業分野も含め真に地方が潤う効果的、効率的な政策の実施を期待するものであります。

また、本町におきましては、基幹作物の水稲は6月の低温と日照不足、7月の大雨の影響により、農家の皆様の懸命な努力にもかかわらず、作況指数は90という厳しい結果となりました。

本年は、皆様の日々の努力が実を結ぶ豊穰の出来秋を迎えることができ、ますよう心よりご祈念申し上げます。

一方、町の主な事業では、屋外遊戯場「三世代公園日本一のキュービックコネクション」が7月にオープンし、屋内遊戯場「キッズスクエアあちくる」との相乗効果もあり、予想を大幅に上回る方々が来場され、隣接するキャンプ場は昨年の4倍を超え、過去最高となる7千人強の利用者を記録いたしました。

さらに、インバウンド

観光の推進や、フェイスブックなどSNSを活用した情報発信を積極的にを行い、本町の知名度向上と地域経済の活性化が図られたものと感じております。



加えて、3月にはホームセンター「ホームマックニコット」が進出し、町民の利便性の向上が図られております。

次代を担う子どもたちが、ふるさとに愛着を持ち、心豊かに育つことは、まちの持続的な発展に欠かせない町民みんなの願いであります。

家庭と地域が一緒に力を合わせて、 町民みんなで子育て支援をさらに 進めていきたいと思います。

昨年12月の第4回町議会定例会において、「子ども子育て応援宣言のまち」として議会の議決をいただいたところであります。

今後、更に一層子育てにやさしい町として、町内外にアピールし、若年世代の移住・定住を促進するとともに、本町の更なる発展に努めてまいります。



さて、本年は統一選挙の年であり、本町におい

ても町長、町議会議員の改選の年でありますが、私は、今期限りで町長の職を退くことといたしました。

平成19年の町長選挙において、町民の皆様のご理解と温かいご支援を賜り初当選させていただき、2期目、3期目は無投票の榮に浴させていた、いただきました。

就任当初から、町財政の健全化並びに人口の確保対策を最重要課題に掲げ、町政運営を執行してまいりました。

町財政の健全化につきまして、経常経費の削減、補助事業や有利な起債の充当を念頭に、主要事業として、消防庁舎の移転新築、消防ポンプ車及び水槽車の更新、町道の改良舗装、温泉浴室棟の新築と改修、除雪トラックの増台による除排雪体

制の強化、公営住宅・単身者住宅の新築、本町知名度向上のための新米普及マラソン大会の新規開催、パークゴルフ場管理棟の新築、米穀乾燥調整貯蔵施設の機能強化改修事業、温泉の源泉ボーリング、スポーツセンターをはじめ全ての公共施設の耐震改修、屋内・屋外遊戯場の整備、ブロッコリー関連の特産品開発などを実施してまいりました。

一方、人口の確保対策では、旧小学校跡地の宅地分譲や子育て支援対策として出産1年後祝い金支給制度の創設、妊婦検診の助成、各種予防接種の無料化、高校生までの医療費・水道基本料の無料化、認定こども園の開設及び保育料の軽減、結婚祝い金の支給、新婚・子育て世帯の家賃助成と引越し助成などを実施してまいりました。

また、障がい者にやさしい町としてグループホームを招致することができました。



平成29年の1年間の人口動態は、転入が転出を36人上回り、昭和58年以来34年ぶりに3人ではあります。人口が増加しましたことは、少なからずこうした施策の成果であるろうと考えております。

また、一般・高齢者福祉対策といたしましては、胃がん検診をはじめ各種がん検診費用の助成、人間ドック、脳・肺ドックの助成、高齢者タクシークケット助成、住宅リフォームの助成などを実施することができました。

これらの事業を実施してまいりましたが、平成29年度一般会計決算では、平成19年度からの11年間で約24億円改善でき、健全な財政状況を維持しております。

これもひとえに、町民の皆様をはじめ議員各位の深いご理解と、職員の方々の懸命な努力の賜物であり、心から感謝とお礼を申し上げます。

地方自治体を取巻く環境は、国の地方創生等により大きな変革期を迎えておりますが、私に残されました3月25日までの任期を、「小さくてもキラリと輝く存在感のある町づくり」に全身全霊を傾注してまいりますので、町民の皆様の一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆様にとりまして明るく活気に満ち溢れ、幸多い一年でありますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

謹んで新年のお慶びを申し上げます



秩父別町議会
議長 土井 亨

町民の皆様、新年あけましておめでとうございます。

輝かしい平成31年の新春をご家族とともに、健勝で迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

町民の皆様には、日頃から町議会活動に深いご理解と温かいご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は基幹産業の農業の水稲において、生産者各位のご努力や関係機関・団体のお力添えも及ばず、春先の天候不順などにより、8年連続の豊穣の秋を迎えることができませんでした。新年度に於いては秋に豊穣になることを願うところです。

昨年は、日本列島におい

て自然災害が頻発、北海道でも胆振東部地震が発生し甚大な被害をもたらしました。さらには、北海道全域がブラックアウトとなり、本町において被害は無かつたものの住民生活には支障をきたし、どこにいても災害による影響があることを知らされたところです。

被災地では、未だ自宅に戻れず仮設住宅や親族の家に移り住む方が多くいらつしやいます。お亡くなりになられた方々に対し、あらためて追悼の意を表すとともに、被害に遭われた皆様に、心からお見舞い申し上げ、一刻も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

昨年は水害等の自然災害と

して農業被害は有りませんでした。したが、国内の農業問題や海外との貿易問題など課題が山積されています。政府においては、農業を基幹産業とする本町で、これから農業の担い手が将来にわたり意欲と希望を持って営農できるように施策を望むところです。

また、外交では北朝鮮問題等で近隣諸国との関係修復が進んでいる中、拉致問題などまだまだ憂慮する状況であります。安全にそして安心して国民が日本に住めるよう努力を惜しまないよう望むところです。

政府閣僚は、国民に対し、謙虚な気持ちを忘れることなく、政権運営を心がけてもらいたいと思います。

町内に目を転じますと、神薙町政最大の事業、一昨年屋内遊戯場「ちっくくる」が、さらに昨年7月には「ベルパークちっぷべつ」に日本一を誇る「キュービックコネクション」がオープン

しました。三世代が利用できる屋外遊戯場の整備により、キャンプ場の利用等今までになかった交流人口の増加につながって、町内の商工業の売上増に寄与しているところでもあります。

今後さらに町の活性化の起爆剤となることを、願うところでもあります。

私たち議会議員は今年3月30日で任期満了となります。町民の皆様には支えられ議員活動を今日まで行えたことに感謝申し上げます。

町民の皆様から町政への思いを議員一同自らの責務として充分に自覚し、町民の皆様への負託にお応えできよう最後まで努力してまいりる所存であります。

新しい年が、明るく健やかな一年でありますように皆様の幸多い年でありませうお祈り申し上げます。町議会を代表してのご挨拶といたします。

町議会

議長 土井 亨

副議長 本村 修二

総務経済
常任委員長 寺迫 公裕

議会
運営委員長 畑田 壽

議員 早川 正剛

議員 柴田 壹隆

議員 大野 敬

議員 藤岡 浩文

議員 岡崎 文司



謹
賀
新
年

教育委員会

教育長職務代理 梅澤 大観
委員 南 洋子
田丸 政彦
宮本こずえ

農業委員会

会長 川上 徳嗣
同職務代理 吉田 光博
委員 塩谷 雅則
高橋 裕治
植田 孝典
河瀬 晋
片岡 洋一
中村 純一
椀澤 雄大
高松 隆
佐崎 雅俊
多田由紀博

監査委員

代表委員 藤岡 和正
委員 柴田 壹隆

選挙管理委員会

委員長 東 晴基
同職務代理 平瀬 悦子
委員 高村 広行
福島 敦子

固定資産評価審査委員会

委員長 田中 康雄
委員 安部 了一
吉澤真由美

公平委員会

委員長 山田 憲正
委員 竹内 常雄
塩谷 一美

国民健康保険運営協議会

会長 柴田 壹隆
同職務代理 藤岡 浩文
委員 佐々木正人
齊藤 哲也
三浦 四郎
前田 力男

行政相談委員

委員 蓑口 洋次

人権擁護委員

委員 黒田 卓夫
榎本 信子

民生児童委員協議会

会長 中西 俊治
副会長 神田 達広
委員 小山 裕子
森 秀夫
山田たまの
山本 久代
宇野 誕子
岡田 存広
石井 康夫
川尻祈代三
池田 展子
主任児童委員

深川地区保護司会

支部長 中西 輝行
支部分長 金倉 泰賢
副支部分長 藤岡 祐子
保護司 藤岡 祐子
山本 清美
瀬戸 宣夫

深川地区消防組合

団長 熊田 政人
副団長 眞島 秀樹
第一分団長 山森 正己
第二分団長 東 晴基
外団員一同

秩父別消防団

交通安全指導員会

会長 尾谷 重良
副会長 中西 伴浩
委員 大井 和範
砂川 純
斉藤 讓二
合田 和広
高橋 秀幸
金森 一巳
藤原 幹也
手塚 浩二

秩父別支部

植田 辰徳
眞島 祐輔
前田 一至
池川 伶汰

社会教育委員

委員長 藤原賀津雄
副委員長 我部山真美
委員 山本 徹淨
金倉 紀子
金森 一巳
中島 淳

スポーツ推進委員

委員長 山森 聡
副委員長 今井 誉民
委員 菊地 幸絵
前田 誠
手塚 奈美
寺迫 昇真
山本 一成

